

# サンカノゴイ

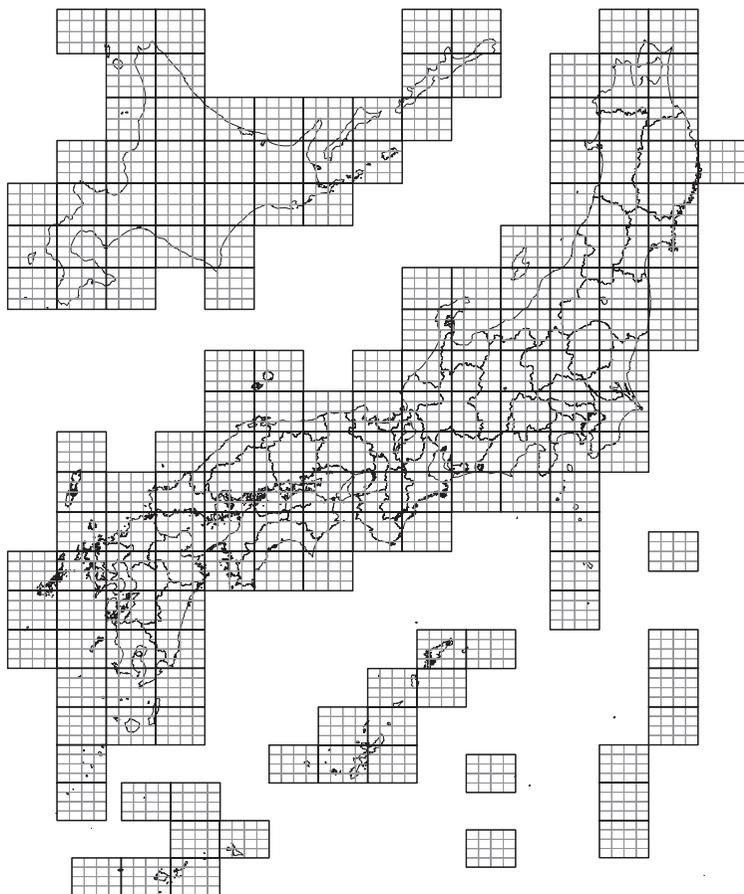
(分類) コウノトリ目サギ科 *Botaurus stellaris*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 B類

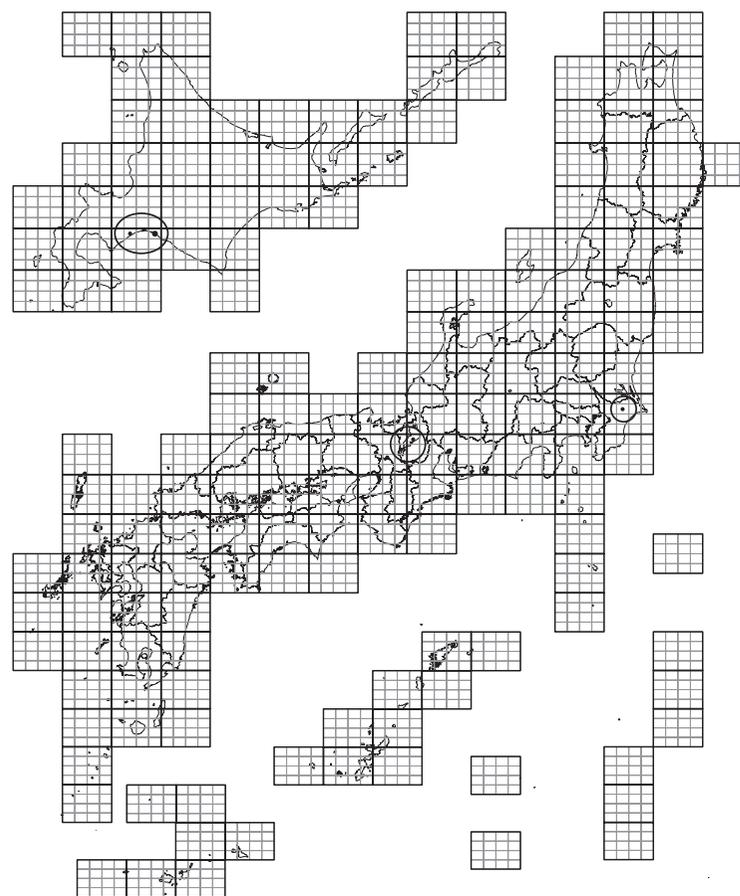
(分布) 北海道を除く全国の湿地で留鳥または冬鳥。北海道で夏鳥。ユーラシアに広く分布。

(生態) 大型のサギ類で、2～7月頃大規模なアシ原の中で営巣する。3～7卵を産み、雌が25日前後抱卵する。魚類、両生類、小型哺乳類、鳥類のヒナなど広く動物質のものをとる。

1974年－1978年    メッシュ数   A = 0   B = 0   C = 0



1997年－2002年    メッシュ数   A = 0   B = 1   C = 4



# ヨシゴイ

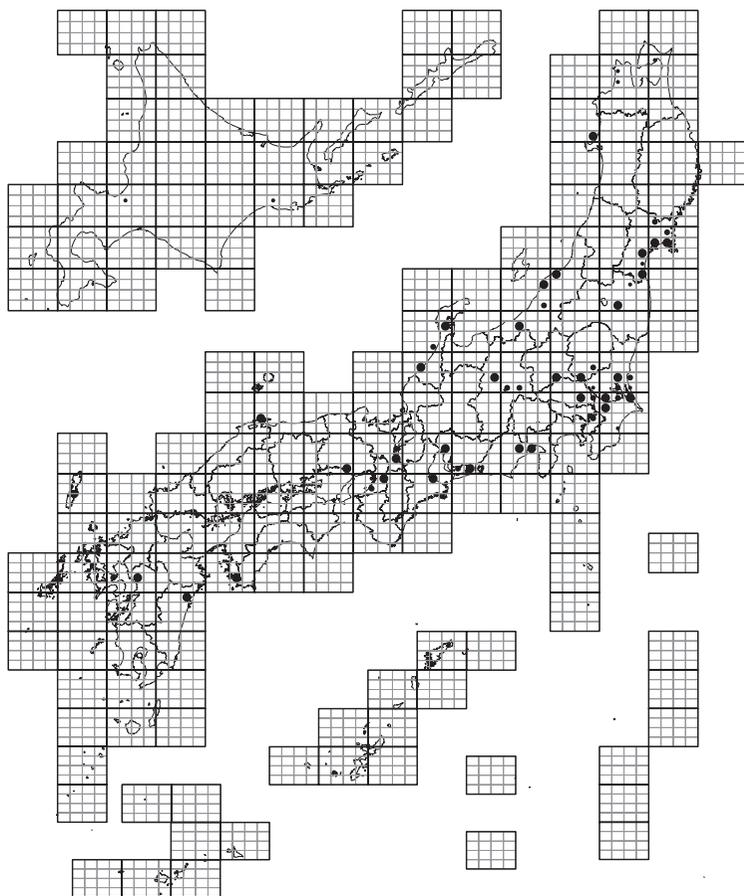
(分類) コウノトリ目サギ科 *Ixobrychus sinensis*

(環境省 RDB 種) -

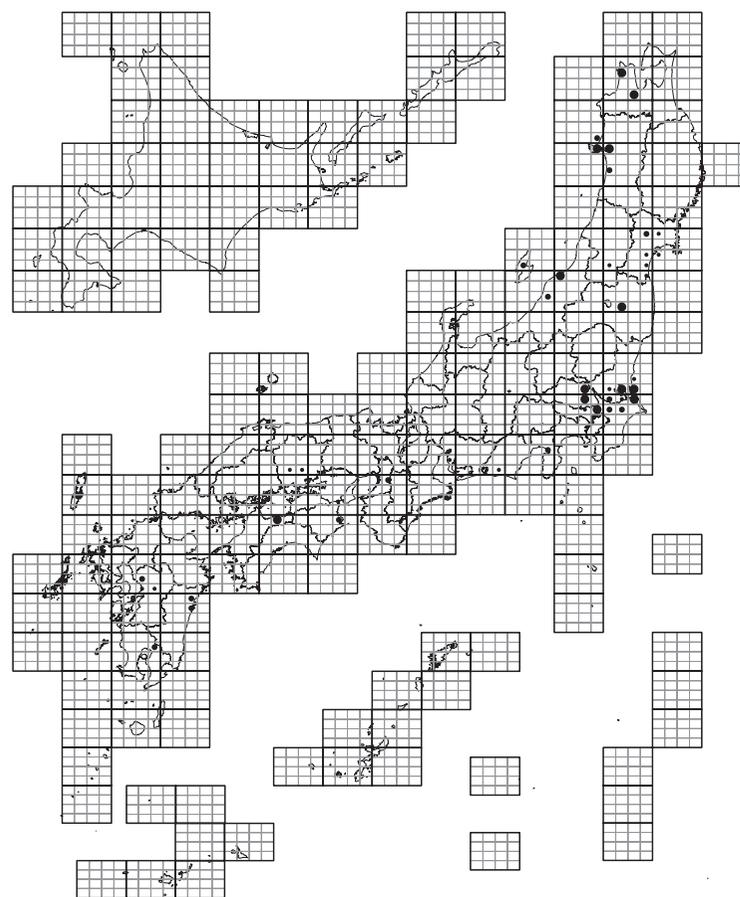
(分布) 全国で夏鳥。西南日本で越冬記録あり。アジアの熱帯から温帯域に分布。

(生態) ガマやアシ原などの草丈の高い湿地や水田にすむ。関東では5月下旬に渡来し、4～7卵を18日前後抱卵し、6月下旬にふ化する。渡去は8月中旬以降。小魚、両生類、甲殻類などを捕食する。

1974年－1978年    メッシュ数   A = 31   B = 17   C = 14



1997年－2002年    メッシュ数   A = 13   B = 15   C = 17



# オオヨシゴイ

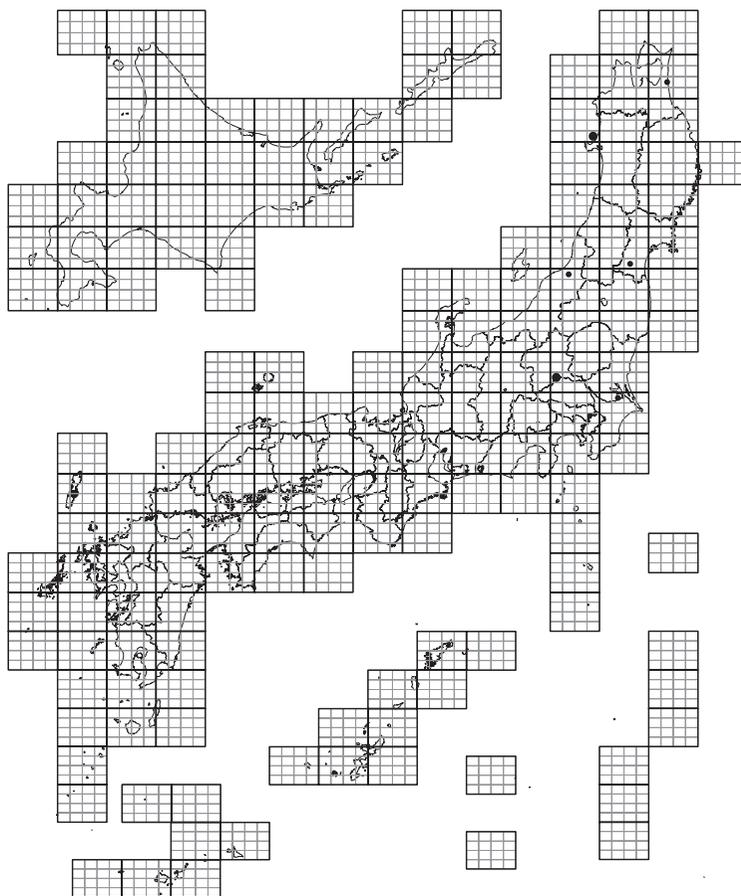
(分類) コウノトリ目サギ科 *Ixobrychus eurhythmus*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 B類

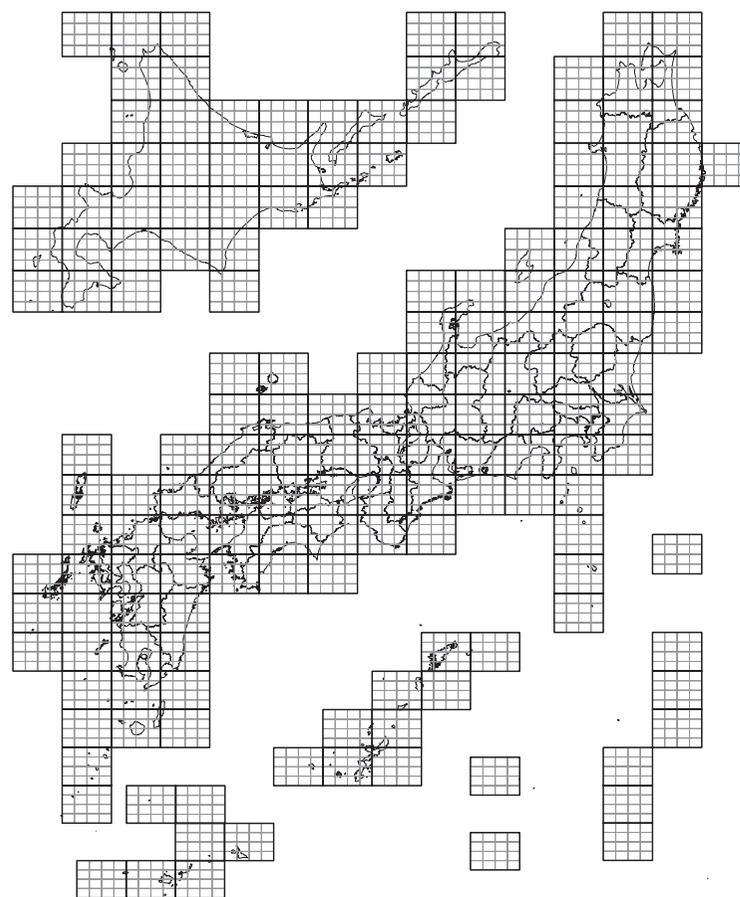
(分布) 本州中部以北から北海道で夏鳥。本州南部で一部越冬。アジアの温帯から熱帯域に分布。

(生態) アシ原や沼沢、湿地の草原、水田に生息する。ヨシゴイに比べてやや乾燥した草原を好み、地上に営巣することが多い。繁殖は5～7月で、4～6卵を17～19日程度抱卵する。魚やカエルを捕食し、夕暮れ時や明け方にはよく動き回る。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 2 B = 4 C = 0



1997年－2002年 メッシュ数 A = 0 B = 0 C = 0



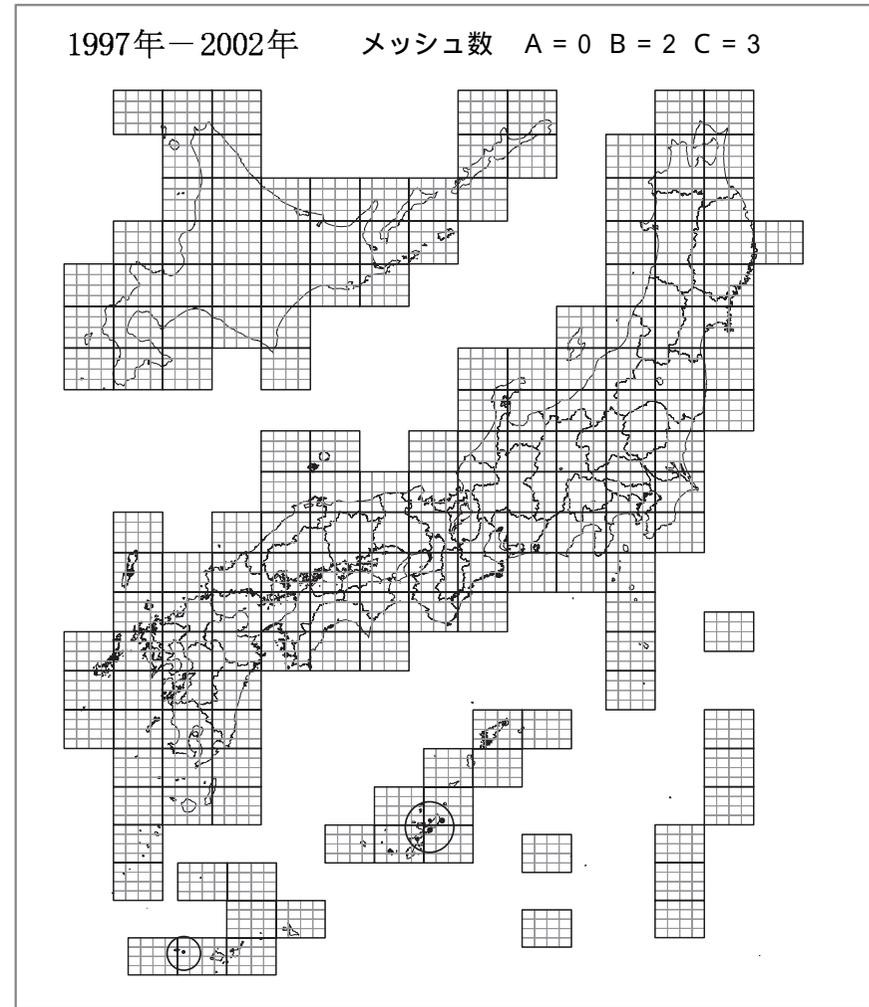
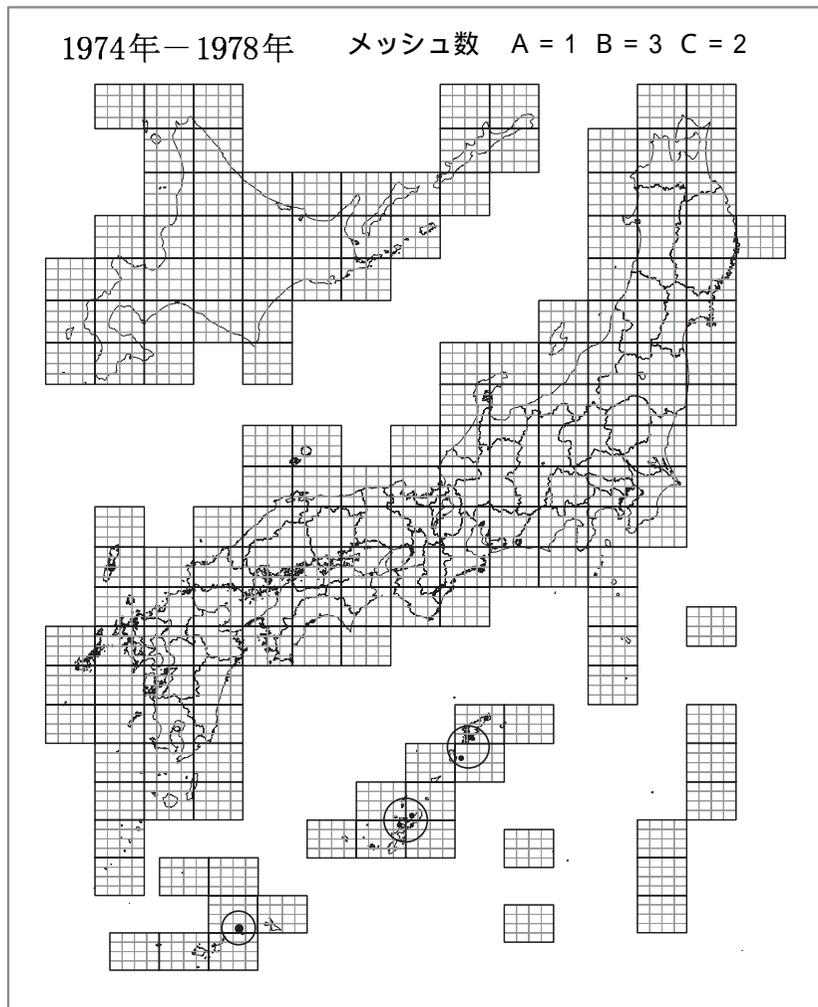
# リュウキュウヨシゴイ

(分類) コウノトリ目サギ科 *Ixobrychus cinnamomeus*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 南西諸島で留鳥。中国南部からインドまでの熱帯、亜熱帯域に分布。

(生態) 水田を含む湿地やアシ原に生息し、5～9月に繁殖する。5～6卵を20日前後抱卵する。繁殖生態の詳細はわかっていない。魚類、両生類、昆虫などを捕食する。



# ミソゴイ

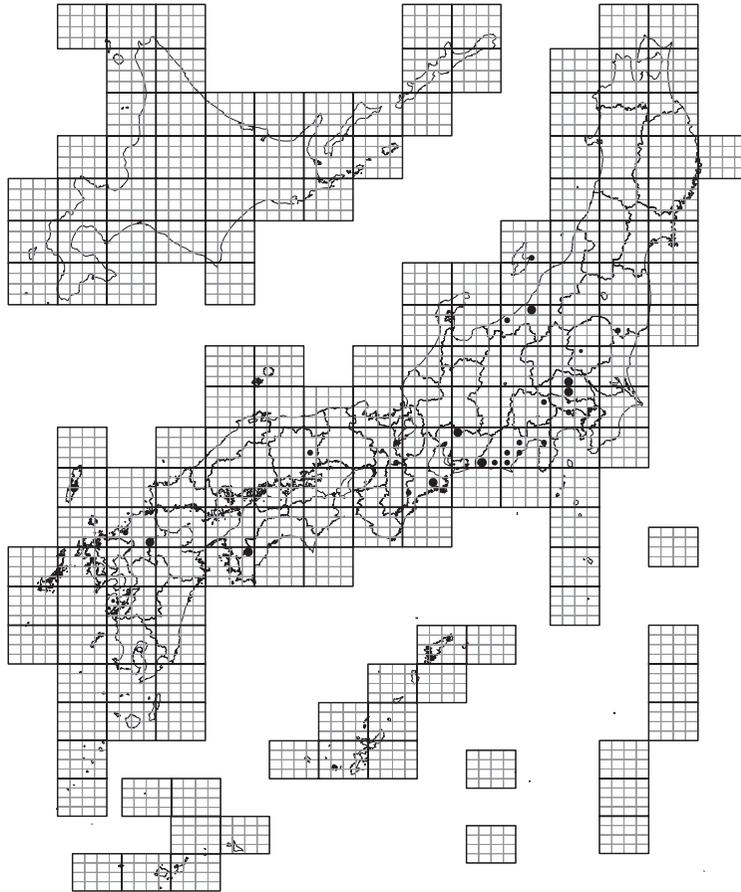
(分類) コウノトリ目サギ科 *Gorsachius goisagi*

(環境省 RDB 種) 準絶滅危惧

(分布) 本州以南で夏鳥。フィリピンで越冬。西南日本から台湾で越冬する個体もいる。

(生態) 4月中旬頃渡来し、低山の針広混交林の沢筋などでコロニーをつくらずに単独で営巣する。3～5卵を25日前後抱卵し、ヒナは約35日齢で巣立つ。水辺や林床で甲殻類、昆虫やミミズなどを捕食し、薄暮時や夜間によく鳴く。

1974年－1978年    メッシュ数   A = 8   B = 16   C = 4



1997年－2002年    メッシュ数   A = 2   B = 7   C = 10

